

日本も欧米列強の仲間入り！
そろそろ、不平等条約を改正しても、、、

1858年日米修好通商条約

- ・ 治外法権：日本にいる外国人を日本の法律で裁けない（泣）
- ・ 関税自主権が無い：外国の安い製品が入って来て、国内産業が潰れてしまう（泣）

この不平等条約を改正しようと、何人もの人物が海外交渉を続けていった、、、。



① 岩倉具視使節団（1872年）

1872年に欧米を訪問し、あわよくば「条約改正を！」と狙ったけど欧米のすごさに圧倒されて、改正どころじゃなく帰国（泣）



他の国がいい条件になると自動的にそっちの条件に合わせる事を「**最恵国待遇**」っていうよ。

② 寺島宗則

アメリカは関税自主権の回復に合意、しかし他国が拒否したため、アメリカとも「**最恵国待遇**」により不成立となる。



③ 井上馨（1882年）

「条約改正には欧米人と同じ暮らしをしてアピールすべき！」と考えた井上馨は、東京に**鹿鳴館**という建物を作って、毎晩のようにダンスパーティを開いた。この極端な欧米の真似っこスタイルを**欧化主義**と言うよ。

